

令和元年 第9回香芝市教育委員会会議(8月定例)会議録

日時 令和元年8月23日(金)
午前9時30分より
場所 香芝市役所5階 委員会室

〔出席者〕

教育長 村中 義男
委員(教育長職務代理者) 田中 貴治
委員 石原田 明美
委員 三岡 正美
委員 關野 英明

〔欠席者〕

なし

〔事務局〕

教育部長 福森 るり
教育部次長(生涯学習課長、青少年センター所長兼任) 澤 和七
教育総務課長 隈崎 倫夫
学校教育課長 廣見 敦志
こども課長 上平 直美
市民図書館長 好川 雅章

〔書記〕

教育総務課主幹 松田 陽介

- 日程1 定足数の確認
- 日程2 開会の宣言

教育長 おはようございます。教育委員会会議(8月定例)を招集させていただきましたところ、委員各位におかれましては何かとお忙しいところでございますけれども、ご参集をいただきまして誠にありがとうございます。

本日は、来月に開催されます香芝市議会の議案の作成に伴う意見聴取に関する議案を上程させていただいております。慎重審議の上、原案承認・可決賜りますよう、よろしく申し上げます。

それでは、定足数に達しておりますので、これより令和元年第9回香芝市教育委員会会議(8月定例)を開会いたします。

- 日程3 署名委員の指名について

教育長 署名委員は、石原田委員と關野委員にお願いいたします。

教育長 前回会議録につきましては、委員の皆様方にその写しを配布いたしております。また、すでに署名委員のご署名をいただいておりますので、前回会議録の朗読につきましては、会議の円滑な進行を図るため省略したいと思いますのですが、ご異議ございませんか。

各委員 (「異議なし」の声あり)

教育長 異議がないということで、前回会議録の朗読を省略いたします。

日程4 教育長の諸報告

教育長 では、日程に基づきまして、前回7月30日の第7回教育委員会議以降の私の動静についてご報告させていただきます。

31日は同日付で退職する市教育委員事務局2名の職員に辞令交付を行いました。2名の職員には、これまで長きに渡り香芝市の教育全般に渡りご尽力を賜ったことへのお礼を申し上げます。

月が変わり、8月1日は、総合福祉センターで第2回香芝市民生委員推薦会が開催されまして、校長会の会長と出席をいたしました。各地域の自治会から推薦をされました民生児童委員の承認を行わせていただきました。

2日の金曜日は、香芝市小学校水泳記録会が下田小学校であり、教育部長以下事務局の職員と激励に行き参りました。当日は猛暑が心配されたため開会式を取りやめ直ちに競技に移る措置を取っていただきました。

また、同日は学校地域パートナーシップ事業連絡協議会を開催いたしました。4中学校区の事業経過を報告いただいた後、ふたかみコミュニティマネージャーの青木氏に学校運営協議会とコミュニティ協議会のあり方についてご講演をいただきました。

その後、奈良県吹奏楽コンクールが橿原文化会館でございましたので、応援に行き参りました。コンクールの結果でございますが、今年も市内全ての中学校が金賞を受賞し、さらに香芝中学校と香芝西中学校は奈良県代表として関西大会へ出場することが決定しております。

7日は夏休み子ども図書館員の任命式に出席し、小学生4名に任命書を交付させていただきました。子供たちの活字離れが危惧されておりますが、このような活動により子供たちが本や読書に興味を持ってくれればと思います。

同日午後からは、中央公民館や二上山博物館の指定管理者を選定する委員会が開催され、今後の日程などについて協議を行いました。

8日は奈良県学童水泳大会が天理プールで開催されましたので、学校教育課長と応援に行き参りました。県下77校、714名の参加がありましたが、本市より9校、196名の参加がございました。当日は非常に暑い中でありましたが、子供たちは一生懸命に泳いでおり、また多くの先生方や保護者の方も応援に来られていたのでお礼を述べさせていただきました。

9日は中学校給食センター運営委員会が開催され、PTA代表より保護者の立場からの残食についてのご意見等をいただきました。

また、令和2年度に使用する教科用図書を選定委員会会長より答申をいただき、選定に至るご苦勞に対し感謝を申し上げます。

夕方より、橿原観光ホテルにおいて人権を確かめ合う日交流会に出席いたしました。

16日は全国大会に出場する市内の中学生の激励会を行い、市長や議長から激励の言葉をいただきました。今年も多くの中学生在全国大会への出場を決定してくれています。すでに試合が終わっているところもありますが、健闘を称えたいと思います。

18日の日曜日は、日本空手道正気会全国大会が総合体育館でございましたので、来賓として出席し、ご挨拶申し上げます。

20日は、市内の4中学校、そして香芝高校のそれぞれ代表生徒、16名による「中学生議会」を市役所5階の議場を使用して開催をいたしました。若い世代に、香芝市政を身近に感じてもらいたい。そして政治に関心を持ってもらいたい、そのような思いではじめました中学生議会も今年で5回目となりました。議場では、子供たちは緊張感の中にも引き締まった力強い眼差しで、堂々と自分の意見を発表し、また答弁や他の生徒の発言にも真剣に耳を傾けてくれておりました。さすがに各中学校を代表する一人ひとりだなど感心をした次第でございます。質問内容もやはり教育に関するものが多く、子ども達が普段生活をしている学校に対する思いもさまざまであると感じました。

午後からは、今年度第1回目となるいじめ不登校対応委員会を開催し、いじめアンケートの結果などを中心に審議を行っていただきました。

21日は、奈良県公立学校施設整備期成会理事会及び総会がございました。決算の認定や予算および今後の運動方針について協議が行われました。

午後からは、第8回臨時教育委員会会議を開催いただいております。

そして本日の第9回教育委員会会議となります。

以上、本日までの私からの諸報告でございました。何かご意見ご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。田中委員。

田中委員 失礼します。8月2日の学校地域パートナーシップ事業連絡協議会を開催されたということですが、特に何か参加者のほうから発言や議論の内容等があれば説明願いたいです。

教育長 教育部次長。

教育部次長 失礼します。まず、会議の状況ですが、教育長からご報告がありましたように、市内4中学校区のコーディネーター様からこれまでの事業経過のご報告、その後、二上小学校コミュニティ協議会の青木 恒夫様から学校運営協議会とコミュニティ協議会のあり方についてと題し、お話いただきました。

ふたかみコミュニティの内容をお話しながら、委員皆様からの感想またはご意見等を引き出してそれぞれの方の思いや考え方、今後の進め方等を話し合える場を提供していただけたと考えております。その中で、委員の選定方法、学校運営協議会の委員の選定方法をどうしたらいいのか。そして、学校や教育委員会から地域のほうを応援してほしいというようなご意見。また校長先生の機能、教育委員会の機能の部分について、いろんな面で応援してほしいというようなご意見をいただきました。以上です。

教育長 よろしいでしょうか。ほかにございますか。三岡委員。

三岡委員 失礼します。同じく8月2日に実施された香芝市小学校水泳記録会についてですが、いままで市の記録会は県の記録会よりも遅くに実施されていましたが、今回早められた

理由があればお聞かせ願いたいのと、この猛暑ですので市の教育委員会として熱中症対策として何かしたのであれば教えていただきたいです。あともう一点、夏休み中の学校のプール開放など、今年も猛暑で行われているところが減ったところもあると思います。がそういった状況について、お聞かせ願えますか。

教育長 学校教育課長。

学校教育課長 失礼します。まず、水泳記録会の件ですが、早めた理由は、さまざまにありますが、まず、そこまで練習するというのもありますので、なるべく練習期間を短くするというのもあります。それから管理面の問題もありますが、その間ずっとプールを管理しないといけないという面です。ただ一番の理由は夏の暑さと子ども達の体調を考えて、早めに終わらせたところでは。

それから、夏休みのプール開放については、泳力を補習するという意味で子どもたちの学びにつながるということで、プールを開放して、泳ぐことが苦手な子や記録会に出る子ども達の練習の時間にあてたりとしているところですが、今後はプールサイドで待っている子ども達が熱中症になるということも考えられますので、そのあたりはこちらとしても検討しながら、また各学校と相談しながら進めていきたいと思っています。市の記録会ですが、県の記録会については割と得意なというか、頑張りたいというところでは出場していますが、市の方は、どちらかという苦手なのだけれども出場して自分の記録を残したいという子どももいますので、そういった子たちの頑張りへの保障ということもあり、市の記録会というのは今後も進めていくということで考えています。ただそれもこれからの気温の上昇によってまた考えていかなければならない。今回は少し暑いということで開会式を省略したということです。以上です。

教育長 教育部長。

教育部長 説明はさきほど学校教育課長が申し上げたとおりになります。昨年度の酷暑が続いた状況の中で、プール開放につきましては各学校に在り方について、その回数や対象、目的というようなところを十分協議されたと聞いてございます。私どももなるべく子ども達の負担軽減、健康上の管理ということも合わせて、プール開放については縮小も合わせて考えてほしいというお願いをしました。

さらには働き方改革の問題のなかで、行事の見直しや先生方の負担軽減という背景もあって、いままさに今年につきましても各学校の在り方、回数等も含めて、今後どうするか検討しているところでございます。以上です。

教育長 三岡委員。

三岡委員 ご丁寧な説明ありがとうございました。やはり私も県の記録会に何度か応援に行ったことがあり、早朝から夕方まで本当に子どもの負担も大きいので、市のほうでは時間短縮されたりですとか、熱中症対策をしっかり考えていただいて結構だと思います。

夏休みのプール開放についても、やはりこういう気候状況ですので、どうしても縮小せざるを得ないと思います。午前中にプールが実施されるところがほとんどだと思いますが、ちょうど終わったのがお昼前で子ども達が本当に炎天下の中、集団で帰宅するわ

けでもなくプールに参加した子、低学年の子ども達がポツポツと帰る様子を見ると、この子たち大丈夫かなと心配しておりましたので、縮小は考えていくべきなのかなと思われました。

教育長 ありがとうございます。ほかにありますか。關野委員。

關野委員 8月20日の「第1回香芝市いじめ・不登校対応委員会」について、アンケートの審議ということですが、もうすでにアンケート集計して、動いている学校もあるかもしれませんが、そのあたりの対応とかはどうなっていますか。やはりはやく動かないと9月からの登校とかに影響があると思います。

教育長 学校教育課長。

学校教育課長 ありがとうございます。まずいじめアンケートですが、6月末あたりを目途に各学校に実施していただいているところでございます。それを受けて、いじめを受けたことがある、あるいはいじめの現場を見たことがあるというような児童生徒、あるいは全生徒を対象に、各学校の実情に応じて各生徒にヒアリングを先生方におこなっていただいています。各学校の中でもいじめ対応委員会を設置してもらっていますので、その設置している委員会の中で、これはいじめに該当するであろう、これは今後の経過を見るべきことであろうというような形でそれぞれ審議していただいて、その結果を市の教育委員会に報告していただいて、その結果をいただきながら、生徒指導担当と教頭先生に来ていただいて、ヒアリングをそれぞれにおこない、少し不明な点が出てきたら質疑応答させていただきながら、対応策をともに考えて、その結果を8月20日の対応委員会に報告させていただいて、そこで委員の皆様さらにご協議をいただいているという形で、1学期に考えられるいじめ等に対する細やかなケアや聞き取りは十分におこなわれているところですが、以上です。

教育長 關野委員。

關野委員 ありがとうございます。私の知り合いで人を介して相談があったのですが、いじめられている感じであるということです。担任の先生にいうと、そうか、ということです、あとの返事が全然無いということで心配されている方がおられましたので、こういうのは初期動作が非常に大事だと思います。この親からは私は聞いていないですが、学校の担任の先生は本当に大丈夫なのかなという形で、なにか不信感を持たれている保護者の方もいらっしゃると思いますので、やはり素早い対応で保護者の不信感を払拭することが大事だと思います。以上です。

教育長 ほかにございませんか。石原田委員。

石原田委員 さきほど吹奏楽コンクールについて報告いただきましたが、香芝市の中学校の吹奏楽というのは本当に香芝が誇りに思える大切な財産的なものだと思います。彼・彼女たちがしっかりと練習できる施設が確保されているのかどうかということをお聞かせいただけますか。

教育長 教育部長。

教育部長 ありがとうございます。まず、この吹奏楽の活躍というのは委員も仰っていただいたように、本当に香芝市の誇りに思えることだと考えております。彼・彼女たちの発表の場ということですが、確かにいまモナミホールが休止中ということですから、市内にある大きなホールで発表ということはいま叶わないということですが、まずはその代替としては、ふたかみ文化センターの市民ホールを使っていただくことも必要かと思っております。ただ活動は本当に細かな、例えば地域の祭りへ行ったり、幼稚園や保育所、小学校へ行って演奏を披露したりといったところで、大きなホールで演奏する機会が少なくなっても、地域に根ざした活動を地道にしてくれています。

また、市が実施します、いろいろな行事で各中学校がアトラクションとしてすばらしい演奏を披露してくれるような機会も設けるようなことも致しておりますので、おそらくモナミホールの休止については、子ども達にとっては残念な思いを持っている子もおるかと思いますが、それに代わる機会というのはしっかり保障されているというふうに考えています。

各中学校の部活動については、定期演奏会なども実施しておりますが、近隣のホールを借りたりということで、それについてもなんとか私どもも支援できるようにというふうに思っています。

日々の練習についても、エアコンが入りましたので、学校の音楽室などで十分でないというご意見もいただいておりますが、パート練習などは心置きなくできるようになったという意見もございます。さまざまな意味でこの素晴らしい活動をバックアップできるように私どもも心がけています。以上です。

教育長 よろしいでしょうか。ほかにございませんか。
質問等がないようですので、日程5に進みたいと思います。

日程5(1) 香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について

教育長 案件(1)議第17号「香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について」を事務局より説明をお願いします。こども課長。

こども課長 失礼します。ただ今、提案になりました議第17号、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、意見の聴取を行う案件、香芝市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用負担に関する条例の制定につきましての議案について取り下げさせていただきます。

取り下げ理由としまして、令和元年8月22日付、内閣府子ども子育て本部参事官付より奈良県教育振興課に、本年5月31日に交付されました、子ども子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令、令和元年内閣府令第6号、及び特例教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令、令和元年内閣府令第8号について、誤字・脱字等があり8月30日官報にて整合表を公表する予定であるというメールが香芝市に同日8月22日に届きましたので、再度調整を行いたいと思いますので、本議案を取り下げさせていただきたいと思っております。何卒、慎重審議の上、承認賜りますようよろしくお願いいたします。

教育長 ただいま理事者の方から、議第17号「香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に

ついて」の議案取り下げということで、取り下げの説明がございました。内閣府の方から誤字脱字の誤りがあり、8月30日の官報にて整合表を公表するというので、本来でしたら本日皆様方にご審議いただく議案でございますが、そういった事情により、かなりの箇所において誤字脱字が出ています。内閣府の責任ということになりますが、こちらもそのあおりを受けているということになります。このことについてご意見ご質問があればよろしく申し上げます。田中委員。

田中委員 失礼します。念のためもう一度確認しますが、まず、内閣府より県を通じて連絡がきたのが、昨日8月22日であることが間違いはないかという点と、その整合表について、8月30日に各市町村教育委員会に届くと考えてよろしいのでしょうか。

教育長 こども課長。

こども課長 失礼します。8月22日付で内閣府から出ておりました、その文が一旦県に届きます。その奈良県庁のほうから同日にこども課へ届きました。官報にて公表する予定であるということを書かれてはいましたが、香芝市に8月30日に官報のメールが届くとは記載されてい wasn't でしたが、1日2日後に届くかと思えます。以上です。

教育長 田中委員。

田中委員 教育の無償化というのが10月から始まるということでそれまでの間に当然、条例の制定等も必要かと思えますが、実際に利用される方の申請期間が当然必要になってくるかと思えます。届きましたら、1日も早く、整合表を見て、新しい条例をきちんとつくっていただくようお願いします。

教育長 教育部長。

教育部長 ありがとうございます。私どもも鋭意努力いたしまして、官報の内容に則した形でいま予定をしておりました、条例の内容を精査いたしまして、市民の方にご迷惑がからないようにと思っております。また、これにつきまして、場合によっては教育長専決で手続きをさせていただきまして、遅滞なく手続きが進みますように私どもも努力させていただきますので、よろしく申し上げます。

教育長 ほかにございませんか。石原田委員。

石原田委員 今回の取り下げで、必然的にスケジュールがずれてくるかと思えますが、ざっくりとで結構ですので、今後のスケジュールを教えてくださいてもよろしいでしょうか。

教育長 こども課長。

こども課長 失礼します。現在のところですが、保育所と幼稚園に通っているお子様に関しては、必然的に何も申請がなくても無償というところは10月からおこなえるような状況の準備は進めております。もう1つですが、認可外に通われていたり、公立幼稚園を利用している方のうち預かり保育を利用されている方も無償化の対象になりますが、そちらの方々についても8月ぐらいから周知をさせていただきまして、申請書の書類を書いていただくようお願いしておりますので、できるだけ10月には事業が問題なく進められるようには段取りしております。

教育長 教育部長。

教育部長 市民の方に向けてのスケジュールはいまご説明したとおりですが、法政上の手続きに関しましては、一旦官報の内容を精査して、修正箇所をどういった形でこの条例改正に反映させるかというのをいま法制係と調整しております。9月議会には予定通り上程できるようにと思っておりますので、今回、意見聴取はできませんが、さきほど申し上げたとおり専決させていただいて9月議会に上程できるように整えてまいりたいと思っております。いま市民向けの話と議会向けの話をしていただきました。以上です。

教育長 石原田委員。

石原田委員 ご説明ありがとうございます。いずれにしてもかなりタイトな動きにはなってくると思いますが、今回の取り下げの理由は誤字脱字があったということで、ここでこちらがその作業をしているときにまた同じように誤字脱字が出てくるとさらにずれこんでくるかと思っておりますので、こんなことを言わなくてもよいと思いますが、是非たくさん目の通して、ご留意いただけたらと思います。以上です。

教育長 ほかにございませんか。關野委員。

關野委員 条例の件ですが、いまホームページを見ましたら、無償化のガイドブックがあがっていますが、あれには影響ございませんか。

教育長 こども課長。

こども課長 いまホームページに掲載させていただいている分に関しましては、誤字脱字という部分はありませんし、制度的な部分についても問題ございません。

教育長 ほかにございませんか。三岡委員。

三岡委員 失礼します。私もほかの委員さんと同じですが、やはり開始が10月からということ、年度途中から始まるという部分で、いろいろな場所で混乱を招いているということはありませんか。保護者の方もそうですが、事務局のほうもスケジュール的に大変かと思えます。今後申請をいただいて、データ入力等でミスがないように十分に二重三重の確認をよろしく願います。

教育長 こども課長。

こども課長 委員様からご意見をいただいたように、私ども担当課も1人だけではなく2人、3人とチェックさせていただいて、市民の皆様保護者の皆様にご迷惑をかけないように、周知漏れのないように努力いたしますので、よろしく願います。

教育長 よろしいでしょうか。ほかにご質問等ございませんか。
では、お諮りいたします。議案の取り下げについてご異議ございませんか。

各委員 (「異議なし」の声あり)

教育長 異議がないようでございますので、本議案は取り下げます。
日程5(2)その他

教育長 続きまして、案件（２）その他として各課より報告があればお願いします。学校教育課長。

学校教育課長 失礼します。学校教育課より、平成31年度全国学力学習状況調査の調査結果の概要についてご報告させていただきたいと思っております。

資料として1枚もの、表・裏面のものをご用意しておりますので、そちらをご覧くださいいただければと思います。今年度の全国学力学習状況調査につきまして、7月末に結果が出まして、各報道機関からも紙面発表されたところかと思っております。その結果概要と取り急ぎ分析のほうをさせていただきましたので、その実態や傾向を説明させていただきたいと思っております。

まず、全国学力学習状況調査結果概要と書いてあるほうを見ていただけたらと思います。小学校中学校別で結果を載せさせていただいておりますが、見ていただいたら分かるように、香芝市の結果につきまして、小学校国語以外は全国平均よりも高くなっているところではございますが、昨年度からその傾向はあったようではございますが、小学校国語の結果が全国平均を大きく下回っているという結果となっております。

昨年度まで、主に知識を問う問題をA、主に活用を伴う問題をBと分けていたのですが、今年度より複合的に出題するというので、その枠は結合された枠になっているということをご理解いただければと思います。その都合上、国語でいえば、問題数は昨年度A、B合わせて20問あったのですが、今年度は14問となっております。問題数は減少しています。真ん中より下のほう、国語の方について、分析した結果について、少しご説明します。小学校国語観点別調査結果を見ていただきますと、その国語ですが、観点別に見ても、すべて全国より低くなっておりまして、特に関心・意欲・態度それから話す・聴く、それから言語能力、そういったあたりが下回っているというところが特徴として出ています。さらに問題形式別に見ていきますと、これも全国に比して、すべて選択式、短答式、記述式どのものにおいても低く、特に記述式については県平均よりも低い結果となっております。

そういった特徴がでてきました国語に関して、分析させていただいたのが裏面になります。小学校国語の調査結果分析から見える香芝市の学力の傾向と対策というところでまとめさせていただいているところではございますが、その前提として簡単に順位の話させていただきたいと思っております。順位がよくクローズアップされていますが、小学校国語は全国平均と奈良県平均はマイナス0.5問差、半問差で、奈良県45位、大阪府同位でした。13分の12と記載させていただいているのが、同立をひとまとめにした順位で、その意味でいいますと、問題数が減少したことによって、平準化傾向が見られるのではないかとというふうに考えるところでございます。

この学力学習状況調査が始まってから各地域、各府県の取り組みよってかなり平たくなっているところでございます。問題数も減ってそれについても拍車がかかっているのではないかと考えております。

ちなみに参考として、中学校英語、今年度初めて実施しましたが、こちら全国平均と奈良県平均はマイナス0.1問差で、奈良県が13位、同立の他府県が7つあったということで、学力としては割りと高めというふうにはなりますが、10グループに分けた4位、10分の4と記載させていただいているのは、同立をひとまとめにすると4位となります。ちなみに香芝市につきましては全国を比較して4位。全国平均とプラス0.4問差、これを同立でまとめると10分の2というような結果であります。そういうことを考えると半問差で下位上位にぐっと下がったり上がったりするところでもありますので、順位が上であっても下であっても当然意識はしていきますが、そればかりにとらわれず、絶対的な数値で見たいと当然考えているところでございます。

そして実態や傾向をおおきく4点でまとめさせていただいております。まず1つ目

の傾向は、香芝市の子ども達、無回答率が大変高いというところがございます。国語でいいますと14問中、14問とも奈良県の無回答率が全国平均よりも高いですが、香芝市においては14問中9問の無回答率が全国よりも高い奈良県よりもさらに高いという結果ということになっています。また関連しまして、学力だけでなく学習調査を様々にも取っていますが、国語はよく分かる、大切、役に立つという回答は大変高いのですが、勉強が好きとか、計画的に自分で学習するというような肯定的な回答は低くなっているというところを鑑みますと、学習意欲や主体性に問題があるのではないかと見て取れます。

2つ目は、二極化傾向であるのではないかとということも傾向として考えられます。書く能力を問う、記述式の割と国語のなかでは難しい問題なのですが、その問題は出来ているのだけれども読む能力を問うようなやさしい問題が解けていなかったり無回答率が高かったりということを考えますと、やや二極化の傾向がでていていると考えているところがございます。学校別にみていっても昨年度の結果をみていってもそういった傾向がございますので、そこが課題かなと考えています。

それから3つ目は、漢字を書く力、常態・形態の書き分けなど基礎的な言語能力の低さに今回誤答となったというような回答累計が目立つところから基礎的な言語能力のところも低い傾向が見られるのではないかとというふうに思うところがございます。

4つ目は応用的な表現力が低いと書かせていただいておりますが、文章にどういった資料を入れるとより分かりやすくなるか、説得力があるかというような書く能力の問題から選択式であるにも関わらず、なかなかできにくいような状況がありますので、例えば資料等適切に入れた企画書であったり、パンフレットであったり、ポンチ絵であったり、そういうものを作っていく能力に課題があると考えています。また、インタビュー等の聞き取りの際の確認や言い直し、自分がいったことはもう少し分かりやすくいうとこういうことですよであったり、聞かせていただいたことはこういったことですよというような、確認や言い直しなどの対応を問う、話す聞く能力を問う問題がなかなかできにくい結果がありましたので、臨機応変的なコミュニケーション能力にもやや課題があると思っております。対策の方向性としては、とにかく毎年度いままでも言ってきていることだと思っておりますが、学ぶ意欲の向上を目指す多方面からの授業改善が必須であると思われれます。その中で低位層には基礎的な力を付け、中位層には臨場的と書かせていただいておりますが、臨機応変な対応力、複合的な表現力を付けることが大切でないかと思っております。令和元年度の基本方針「香芝教育イブム」というのをいささか出ささせていただきましたが、そこにもございますように、先日議決をいただきました、令和2年度に使う新しい教科書も決まっていたところがございますし、そういったものを活用しながら、教職員自身が主体的に学び続け、学ぶことをまず先生たちがおもしろいと感じ、子どもと学ぶ、分かる喜びというのを分かちあえるような力を付けるような研修等を我々も考えていきたいと思っております。

速報が出て、分析という形をとっておりますので、今後より細かい、学校ごとの詳細の分析であったり、課題の把握であったり、その課題から受けた取り組みの進め方につきましては、いま考えているところは大阪教育大学と連携して組織的に研究チームを作り上げて、取り組みを進めたいと考えておりますので、またその進捗についてはご報告させていただければと思っております。この報告の中で低いというところをクローズアップしたわけですが、決してすべてが低いというわけではなく、香芝市の子ども達は本当に頑張っているところがございますし、先生方も子ども達の学力向上に向けて誠心誠意取り組んでおりますので、今後もその形を進めたいと思っております。以上です。

教育長 ありがとうございます。ただいまの報告について、ご意見ご質問等がございましたら、よろしくお願ひします。石原田委員。

石原田委員 非常に詳細な調査ありがとうございます。本当にいろいろ勉強になりました。あ

りがとうございます。1点質問と1点意見ですが、1点目の質問は無回答率のところ私がとても気になるところではあるのですが、個人的な経験になります。私が子どものときは、先生に必ず「分からなくても、間違っているでもいいからとにかく何か書きなさい」というような指導を受けていたことを思い出しました。この無回答率は子どもの気質というよりは、たとえば指導面のほうで影響があるのではないかとというようなことで何か思い当たることはないか教えてください。

教育長 学校教育課長。

学校教育課長 ありがとうございます。本当に無回答率というのは気になるところでございまして、指導上留意するというようなところを、私も教員をしておったところですが、先生方にはとにかくチャレンジする、問題に向かっていくというような気持ちを大事にしようという指導はしてもらってはいますが、ややもすれば、すぐに諦めてしまうというか、分からなかったら恥ずかしいので、書かないでおうという子どもたちも一部指導が至っていないところが経験上考えることもあるところではございます。恥ずかしさが1つの理由としてあげられるのかなと思います。

教育長 石原田委員。

石原田委員 私も全くの素人ですが、何となく同じような感覚を持っておりまして、これはテストではありますが、ある意味一種のコミュニケーションであるといえますか、質問されていることに対して答えるということは日常でもやっているところで、やっぱりどうしても自分の意見を中々言わないというところと何となく関係あるのかなという気はしています。それがプレゼン能力のところとかに関連するのではと思いますので、少し関心を持ったところでございます。

もう1つの意見のほうですが、二極化傾向にあるというところは1つ課題ではあると思いますが、別の見方をすると伸びている子は伸びているのだと思いますので、伸びている子をさらに伸ばすということは同じようにまたご留意いただければと思います。以上です。

教育長 ありがとうございます。ほかにございせんか。關野委員。

關野委員 今回中学3年生であった子が、小学6年生のときは平成28年度になりますよね。前もいいましたが、28年度で小学校のときにおいてどういった課題があったかと。それを3年間で考えて連携してやっていけば、31年度でその成果が分かるのではないかと思いますので、また私28年度の課題はホームページのほうで見ますが、そういうことが必要だと思います。といいますのは、例年同じような課題が出てきていますので、この3年間でどういう形で指導したのかというのがありますので、経年経過といえますか、学年じゃなしに、小学6年生のときからの流れというのは大事ななと思います。

教育長 学校教育課長。

学校教育課長 ありがとうございます。それは本当に思っていたとおりのところではございまして、毎年毎年受ける子どもが違うというところで1つ結果として違ってくることもあるかと思いますので、経年的な経緯というものを、例えば来年度受ける今の小学5年生の段階でどうであるかということも今度の取り組みではしていきたいとは検討しているところです。ありがとうございます。

教育長 ありがとうございます。ほかにございせんか。田中委員。

田中委員 石原田委員のお話と少し近いところなのですが、やはり特に気になるのは読む能力を問う設問が出来ずとか、基礎的な言語能力の低さというのはやはり危機感を持たなければならぬところかなと。私が一番思うのは、勉強のベースというのは基本的に人とコミュニケーションを取るための知識を蓄積することだと思っています。ということは元々ベースとなる知識が不足しているから、口に出ないとか、そういう部分におそらくくるような気がします。そういう意味では例えば学校訪問の、国語の授業で中々まとめて表現できない子に「〇〇さんはこういう意見だね」と、よくそういう形でみんなに分かるように端的にまとめて仰ったりしています。そうやって現場で努力はしていただいているのは十分理解はしていますが、やはり無回答というのは是非とも避けるべきものかなと思います。こういう部分についてもさきほどのお話にもあったように、何か書け、でもいいでしょうから、そういう部分の指導をもう少し子ども達に分かるように先生のほうからアピールしていただければと思います。以上です。

教育長 ありがとうございます。ほかにございませんか。三岡委員。

三岡委員 詳細な調査をしていただきありがとうございました。やはり国語の能力が低くなっているということで、まず思うのがスマホの弊害ではないかと思っています。一概にスマホだけとは言えないとは思いますが、やはり子ども達の様子を見ておりましても、コミュニケーションが昔でしたら手紙や電話でしたが、今はLINEが中心になっていまして、小学生でもLINEを使いこなしておりますし、そのLINEを見てみますと、本当に文字数が少ないのですね。よくこれで通じるなというような、単語だけということですが、いろんな子ども達から聞いたところでは、長い文章を読めない、書けないというのをよく耳にします。

以前、私の娘が小学生のとき、夏休みの課題として、ノーゲームデー・ノーテレビデーというような取り組みがありました。いまの学校でそれを継続してされているのかは、私は存じ上げませんが、今回の国語の結果を踏まえて、香芝市教育委員会全体でノーゲームデー・ノースマホデー、特にスマホの使い方を見直すという取り組みを真剣におこなっていかなければいけないかなと強く思っております。

教育長 学校教育課長。

学校教育課長 ありがとうございます。委員が仰るとおり、我々が子どもの時の文化や状況が違っている状況でございますし、今の子ども達はうまく活用しているつもりでありながら、基礎的な力や本当に文章を読んだり、行間を慮ったりというようなところの能力については今後見つめていかなければならないと思っています。今ご提案いただきました、市をあげての取り組みについても今後十分に検討していきたいと思っています。ありがとうございます。

教育長 ほかにご質問等ございませんか。
ないようですので、次の報告をお願いします。教育部次長。

教育部次長 私のほうからは、生涯学習課の事業についてご報告させていただきます。
まず、夏場の涼を楽しんでいただいております、香芝市総合プールの利用状況ですが、今年度も昨年度同様に、7月13日から海の日に当たる7月15日までの3日間と9月1日の計4日間を臨時開園といたしております。開園当初は例年よりも気温の低い期間が続いたこと、また台風の影響により、利用者数は昨年より少なめで推移しており、8月21日現在の利用者数は合計で1万4798人でございます。前年同日と比較しますと1064人の減というような状況でございます。残された期間につき

ましても、利用者の安全に十分配慮しながら、清潔で快適なクールスポットを提供できるように指定管理者と連携をとりながら取り組んでいきたいと思っております。

続きまして、今年度の事業の中で、高山台グラウンドの駐車場新設工事につきましては、グラウンド南側に1250平米の敷地を駐車場として供用するために6月24日より工事を開始し、8月8日に工事が完了し、49台分の駐車が可能な状況となり、現在運用開始いたしておりますので、ご報告いたします。以上です。

教育長

ただいまの報告につきまして、ご質問ご意見等があればお願いします。

よろしいでしょうか。ないようですので、次の報告があるようでしたらお願いします。市民図書館長。

市民図書館長

失礼します。図書館より学習室の試行運用について報告させていただきます。

8月2日から9月1日の一ヶ月間、視聴覚室を学習室として試行運用させていただいております。利用状況につきましては8月22日現在で100人、日に直しますと平均5.6人の利用となっております。夏休みの期間となっておりますので、メインとしては学生等を優先させていただいており、18席設けさせていただきましたが、やはり一般の方というか大人の方からの利用申込みもありますので、とりあえず12席を学生用、残り6席を大人の方用というような形で決めておりますが、さきほども申し上げたとおり学生優先ですので、もし12人以上学生の方が利用したいということで、大人の方の席が空いていれば、学生の方に利用していただきたいと思っております。

ただ、今年初めてで今までやっておりませんでした学習室という試行運用ですので、まだ認知度が低いのかと思ったりしますが、今後も視聴覚室の利用を考えるなかで学習室というのも取り入れながら視聴覚室を運用していければなと思っております。以上です。

教育長

ありがとうございます。ただいまの説明の中でご意見ご質問があればお願いします。田中委員。

田中委員

以前より個人的にいろんな方から香芝市内でなかなか勉強する場所がないという意見をちょくちょく耳にしておりました。こういうふうな形の取り組みの中から、少しでも、特に学生さんからそういう要望がありましたので、徐々に広めていっていただければと思います。よろしくお願いします。

教育長

市民図書館長。

市民図書館長

ありがとうございます。委員からもお話がありましたように、今までも夏休み期間中、またはテスト前などは図書館にそういう場所はないのかという電話問い合わせもありました。また、文化センター1階ロビーにいくつか席があってそこで勉強されている方、2階のフリースペースで勉強されている学生さんやお子さんも見かけたことがありましたので、やはり図書館でもということで、今回試行運用をさせていただいたところでございます。

さきほども申し上げたとおり、今現在はあまり利用者数が多いとはいえない状況ですが、引き続き毎月は難しいですが利用状況を見ながらできる限り試行していきまして定着していけばと思っております。以上です。

教育長

ほかにございませんか。三岡委員。

三岡委員

失礼します。本当に素晴らしい取り組みだと思います。この学生さんの利用状況に

ついてですが、内訳についてお聞かせいただければと思います。分かってらっしゃる部分だけでも結構ですので。

教育長 市民図書館長。

市民図書館長 ありがとうございます。内訳ですが、受付はしております。ただそこで、小学生、中学生、高校生というところまではお聞きしてはけませんので、申し訳ありませんが、はっきりご利用されている内訳というのはでておりません。ただ、見ている限りでは、中高生が多いような状況です。以上です。

教育長 三岡委員。

三岡委員 ありがとうございます。試験前に利用者が多くなると思いますので、中高生の方が主流となってくるのだと思いますが、満席で座れない状況ということでなければ、利用の呼びかけとして中学を中心として学校への案内ですとか、そういったものに力を入れていただければ、生徒も喜ぶと思いますので、よろしくお願いします。

教育長 市民図書館長。

市民図書館長 いま仰っていただいたとおりだなと思います。試行運用する前に学校等へ案内をお願いしようかと考えたところではございますが、万が一満席になったらということで、申し訳ありません、私どもが控えていたところでございます。ただ、当初は18席より少ない席数しか確保できないかなと思っていましたが、いろいろ考えたりしたところ今回18席設けることができ、また上手くいけばさらに席数を増やすことができると思いますので、次回試行運用する際は、事前に学校等へもお知らせ等をさせていただければと思っております。

教育長 よろしいでしょうか。ほかにございせんか。關野委員。

關野委員 いまの学習の部屋ですが、なかなか良いと思います。私も知り合いで浪人している方もいますが、2階のスペースや1階ロビーで勉強しているということを知っていましたので、喜んでいると思います。何回か図書館へ行った時にスペースはどんな感じかなということで、図書館の方にお聞きしたりしていると2～3人の方がいらっやいました。見たところ高校生らしいような感じでした。是非続けていってほしいと思いますので、よろしくお願いします。

教育長 ほかにございせんか。
ないようですので、次の報告をお願いします。こども課長。

こども課長 失礼します。お知らせですが、9月5日の広報に令和2年度の幼稚園、認定こども園、保育所の新規申込みの記事を掲載予定ですので、ご報告します。

教育長 ただいまの報告に対しまして、ご意見ご質問があればお願いします。
ないようですので、次なにか報告があればお願いします。
ないようでございますので次回の教育委員会会議の日程を決めたいと思います。次回の教育委員会会議は9月26日、木曜日午前9時30分の予定でお願いしたいと思います。
本日の案件は全て終了いたしました。長時間にわたりまして、慎重ご審議をいただきましてありがとうございます。これもちまして令和元年第9回教育委員会会議を

閉会いたします。

(午前10時38分 閉会)